



高山市ジュニアバスケットボールクラブ設立

今年度より中学生を対象とした高山市ジュニアバスケットボールクラブを設立しました。少子化の中、部員が少なくてチームで練習ができない、進学した先に専門の指導者がいない、部活動の時間が短いなど、子ども達が思いっきりバスケットボールに取り組める環境がなくなっているのが現状です。

高山市バスケットボール協会では、子ども達がかっこよくバスケットに取り組めるような場としてクラブチームを立ち上げ活動しています。クラブチームの練習には、市内の中学生が学年男女関係なく活動しています。多いときには70人程度の子供達が参加し、「いろいろな中学校の人とバスケットがやれて楽しい!」「試合があるのが嬉しい!」などの声が聞かれ、いきいきと活動しています。また、高山市バスケットボール協会の中学校の指導者や高校の指導者、社会人の方々の力をお借りし、子ども達の成長のために指導していただいています。今年度始まったばかりですが、何より楽しそうに伸び伸びとバスケットボールをやる子供達を見てるとクラブチームの場があって、よかったです。今後子ども達のために高山市バスケットボール協会がクラブチームを盛り上げていきたいと思います。



編集後記

岡本選手にインタビューを行った後、愛媛オレンジバイキングスについて調べていると、「岡本選手、残り1分間で同点3P、逆転レイアップで勝利」という記事がありました。「中学校の東海大会でレイアップを外したことを後悔している。」と話していた岡本選手がプロの世

界で逆転レイアップを決めチームを勝利に導いていることにドラマめいたものを感じました。とても礼儀正しく素敵な岡本選手。今後の活躍を期待するとともに、高山市でも応援していきましょう！(Y.Y)

TAKAYAMA AMATEUR BASKETBALL ASSOCIATION
TABBA
 高山市バスケットボール協会
広報誌
 2016-12号 (Vol.015)

TAKAYAMA AMATEUR BASKETBALL ASSOCIATION
飛騨高山のバスケットボールを盛り上げよう!

編集・発行：高山市バスケットボール協会

tabba.jp

高山市バスケットボール協会は
賛助会はじめ協会を支えてくださる皆様のお力添えをいただきながら、
地方が疲弊化する中で若者にバスケットボールを通じて夢と誇りを持って頂き、
この地域を支える大きな担い手としての存在を希望しながら
これからも協会活動に邁進していきます。



元滋賀レイクスターズヘッドコーチ クリスさんクリニック

8月21日にクリス・ベッチャーコーチによるクリニックが行われました。高山とは馴染みが深いクリスコーチ。高山インターハイが行われた頃には高山市のバスケットボールアドバイザーとして活躍して見えました。2013-14年には滋賀レイクスターズヘッドコーチ、現在はアメリカの大学の女子チームで指導しており、世界レベルで活躍しているクリスコーチが「何のための練習なのか。どういう意味があるのか考える」というテーマでクリニックをしてくださりました。クリニックでは「自分ができないのは何故か。できなかった理由を考えて!」と声をかけ、ディフェンスやハンドリングなど丁寧に教えていただきました。最後は選手全員とハイタッチで締めくくり、選手にとっても指導者にとっても勉強になるクリニックになりました。





元日本代表、シャンソンヘッドコーチ 相澤優子さんクリニック

平成28年10月8日に市内の中学生を対象に相澤優子さん（元日本代表、シャンソンヘッドコーチ）を招いてバスケットボールクリニックが開催されました。クリニックでは、ドリブル、シュート、パスを中心に丁寧に教えていただきました。相澤選手自ら一緒にプレイをしてくださったり、細かく声かけをしたりしてもらいながら子ども達は楽しそうにプレイをしていました。元日本代表選手の指導を生かして、高山の子ども達が活躍してほしいと思います。



現Bリーグ「愛媛オレンジバイキングス」所属 岡本選手インタビュー

いよいよ日本でもプロバスケットリーグ『Bリーグ』が開幕しました。Bリーグでは高山市出身の選手も活躍しています。岡本将大（松倉中学校卒）選手です。今回は、そんな高山出身のBリーグ（愛媛オレンジバイキングス）で活躍する岡本選手にインタビューを行いました！

【岡本 将大 選手 プロフィール】

- 岡本将大 1992年12月4日生まれ
- ポジション：ポイントガード (PG) 173cm, 73Kg
- 経歴：松倉中学校 → 美濃加茂高校（岐阜） → 大阪商業大学
→ 愛媛オレンジバイキングス

Q 高山でバスケットをやっていた中学校の頃の思い出は何ですか？

A 中学校時代の一番の思い出は、当時の顧問の先生からバスケットを教わったことです。練習は厳しかったですが、本当に人間的に成長できた3年間でした。当時は、勉強などをごまかしたり、悪さをしたりすることがあったのですが、バスケットを通して私生活もしっかりやらないといけないという意識になってきました。一番印象に残っている大会は中体連の東海大会です。1ゴール差の試合で最後ファールを誘って左のレイアップにいったのですが、外してしまい負けてしまいました。普通にシュートにいけば…今でも後悔していますが、思い出として残っています。

Q Bリーグが開幕しましたが感想は？

A 昨年までと違い、レベルが上がっています。1勝するのがとても大変ですが、勝つために一生懸命練習しています。マッチアップする相手も強い選手が多いです。しかし、高校や大学で有名だった選手とマッチアップして戦えるのは楽しいです。Bリーグは完全にプロ契約なので、下手なプレイはできないという緊張感があります。やはりプロリーグになったことでプロ意識は高くなりました。

Q 高山のバスケットをやっている子ども達に伝えたいことはありますか？

A 自分は「縁」でプロのバスケットプレイヤーになれたと思っています。しかし、その「縁」は努力してきたことを人が見てくれつなってきました。努力していることを必ず見ている人がいます。一生懸命努力し続けることで道は開けてくるので、厳しいことや苦しいこともあるかもしれませんが頑張ってください！

Q 最後に一言！

A 応援ありがとうございます。Bリーグ愛媛オレンジバイキングスの試合を1回でもいいので是非見に来てほしいと思います。そのときは、是非気軽に声をかけてください。一生懸命頑張るのでこれからも応援よろしくをお願いします。

